

# 大阪錦画新話

第九十号

廣信堂

西渡文板

西京下京第二十三番明屋町二丁目

金網職営業 長らぬ娘はる當二十一也

あるが親類より養子に相すえきる所内縁の男有る

ゆる心子染ざれども親と親類をえんと承知とてまゝ

吉日をもちみ婚姻の取結定まり

それほる事右内縁の男心中だての

あはれもちる寺町四茶大雲院寺内

元親の墓所をとりて明治八年

第七月二十七日のまのころ有明

の月ともふ刺刀をもちて

いせう女の道たうとあはれ

家名相續のため花蝶とむ

つとを育てて親の仇を

義とて身をも捨てて

てありせん孝道おそむる

